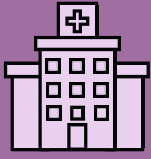


ロサンゼルス郡では



ラテン系の女性は、COVID-19による顕著な影響を受けています。¹



低所得の女性は、COVID-19による顕著な影響を受けています。²

ワクチンの種類



ファイザー製

2 回の接種
21 日間隔

FDAは、安全性が示されている3種類のCOVID-19ワクチンの使用を承認しています。⁸

モデルナ製

2 回の接種
28 日間隔

これらのワクチンにはいずれも、COVID-19を引き起こすウイルスは含まれていません。ワクチンからCOVID-19に感染することはありません。⁹

ジョンソン & ジョンソン製*

1 回の接種

3つのワクチンの利点は、ワクチンによるリスクをはるかに上回ります。

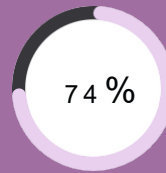
*CDC J&Jワクチン情報シートを参照してください。

女性は仕事と家庭での役割のためにCOVID-19への曝露のリスクが高いです。



米国では、アフリカ系アメリカ人の母親の67.5%とラテン系の母親の41.4%が家族の唯一の稼ぎ手です。³

女性は在宅勤務が不可能な職業により多く従事しています。⁴



接触の多い仕事（ホスピタリティ、フードサービス、パーソナルサービスなど）で働く人々の74%は女性です。⁵

米国における医療従事者の76%は女性です。⁶



米国では、介護者の3人に2人が女性です。⁷

妊娠と授乳

妊娠中にCOVID-19に感染した場合、早産を含む、より重篤な病気や妊娠合併症のリスクが高くなります。⁸

CDC、アメリカ産科婦人科学会、および母体胎児医学会は共に、ワクチン接種の対象となる妊娠中および授乳中の個人にCOVID-19ワクチンを提供する必要があることに同意しています。^{10, 11, 12, 13}

適切な衛生状態では、母乳育児によるCOVID-19感染の証拠はありません。⁹

COVID-19ワクチンが受胎能力を減少させることを示す証拠はなく、全国ですでに7500万人以上の女性がワクチン接種を受けています。⁹

妊娠中および授乳中の方は、COVID-19ワクチン接種を受けるかどうかを各自決定することができます。^{10, 11}



母親や乳児への問題や合併症を示すデータはありません。より多くの妊娠中の人々がワクチン接種を受けるにつれて、ワクチンの安全性に関する証拠が増えています。⁸

妊娠中の個人を対象としたCOVID-19ワクチンの臨床試験が進行中です。将来、より多くの情報が利用可能になるでしょう。¹¹

1 LACDPH: COVID-19 Locations & Demographics
2 Clark et al. (2020). PLOS Neglected Tropical Diseases. 14:7. [3] Center for American Progress: On the Frontlines at Work and at Home. [4] Alon et al. (2020). National Bureau of Economic Research

[5] Econofact: Impact of COVID-19 Crisis on Women's Employment
[6] U.S. Census Bureau: Women in Healthcare
[7] CDC: Women, Caregiving, and COVID-19
[8] CDC: COVID-19 Vaccine Safety & Monitoring
[9] CDC: COVID-19 Myths & Facts

[10] Harvard Health Publishing: COVID-19 Vaccine, Pregnancy, and Breastfeeding
[11] CDC: COVID-19 Vaccine, Pregnancy, and Breastfeeding
[12] American College of Obstetricians and Gynecologists: COVID-19, Pregnancy and Breastfeeding
[13] Society for Maternal-Fetal Medicine: COVID-19 Vaccines and Pregnancy